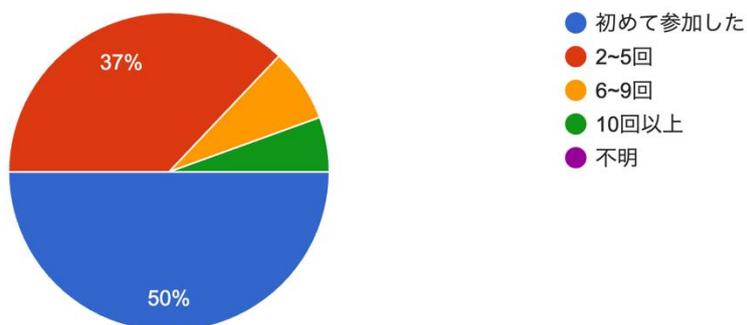
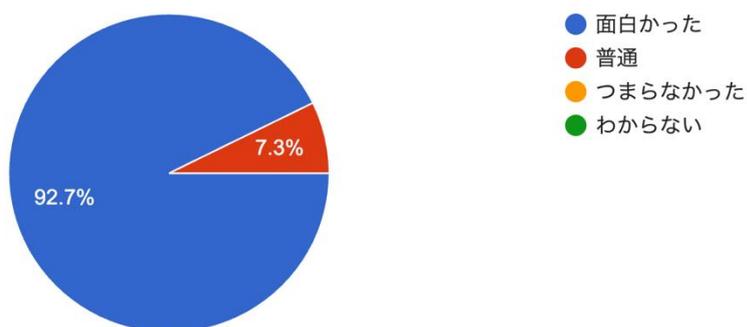


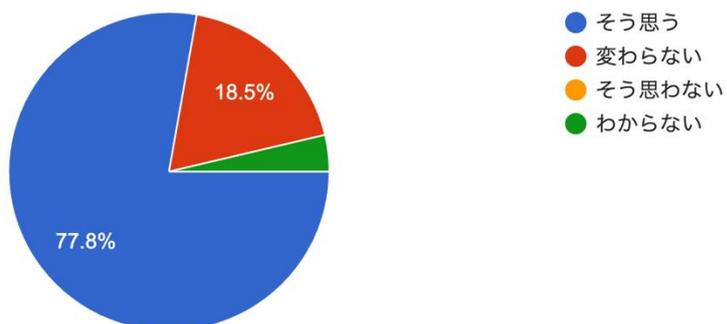
日本植物学会に限らず、男女共同参画やダイバーシ...ウムなどにこれまで参加したことはありますか？
54 件の回答



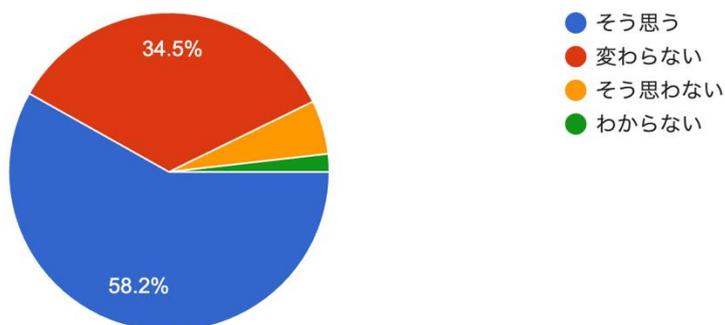
今回のランチョンセミナーはいかがでしたか？
55 件の回答



博士号取得後の就職先について選択肢の幅は広がりましたか？
54 件の回答



博士号を取得すること、あるいは取得を勧めることについてよりポジティブな感情を持ちましたか？
55件の回答



植物学会に対して、博士号取得についてやその後の就職に関連する活動を期待しますか？

(自由記述)

- 結婚などのワークライフバランス
- 期待します。ぜひ続けてほしいです。
- ポスドク募集の公募コーナーを学会の場に設けてほしいです。
- 自分が博士号を取らない選択肢をすることを確信した。
- 就職の募集のコーナーとかもあるとわかりやすくてもいいかも
- 期待する
- 学生のキャリア形成をエンカレッジするような会であって欲しいです。
- 学会が積極的に関わっていくべき課題だと思います
- 続けて欲しいが、重点的に扱う程ではないと考える
- 博士課程の学生さんに行き先や就職先をマッチングさせる場を設けて欲しい 今のところ懇親会くらいだが先生の紹介なしには会話に入っていく
- はい。特にさまざまな分野の企業・機関と学生とのマッチングや情報提供を積極的に行ってもらえるとありがたいです。
- 今回のようなセミナーが定期的にあると良いと思いました。
- 今回のようにどういう選択肢があるのか知る機会ができるのは良いと思います
- 大いに期待します。
- 国際学会のように、ポスドク募集や企業の採用募集などの広告を貼れる掲示板があると情報収集の場が増えて嬉しいと思いました
- 期待します。次回はアカデミックな道に進んだ方からお話が聞けたら嬉しいです。
- 博士号をもつ民間企業の研究員です。学生の時代から植物学会には参加をしています。企業のカラーがほとんどないことが、どんな発表も抱擁する植物学会のらしさの形成の一因なのではないかと、個人的には思っています(あまり企業就職の話が話題にあがらないからこそ、和気あいあいとしている)。ただ、学生さんは自分が思っているのとは全く違く、企業の話をもものすごく聞きたい、ということもあるのかもしれませんが。この辺りのギャップを知ることも大切なのではないかと思います。

今回のセミナーのご感想を自由にお書きください。

(自由記述)

- いろいろな意見を聞いてとても有意義でした。
- とても良かったです。時間があるともっと良かった。
- 博士号を取った人の考え方がわかって楽しかった。
- 様々な角度でお話を聞くことができおもしろかった。
- 何となく参加したがとても楽しかった。私自身は博士課程まで進むつもりはないが、博士に対する偏見が解れた気がする。また、博士の就職についてだが、学部生や修士のような決まった流れが博士の場合、あまりないことが博士の就職に関する不安につながるのかなと感じた。
- 面白い回でした。
- 博士課程に在籍中に心がけるべきことについて、もっと経験談を聞きたいです
- 無難な内容であったと感じる
- キャリアの多様性については理解が深まったが、結局博士号が必要なのか？とはおもいました。修士でも十分そう
- 博士号を取った後の具体的な進路だけでなく、研究に対する姿勢などについても勉強になりました。
- 自分のキャリアパスを考える上で視野が広がりました。お弁当おいしかったです。
- 大変面白いセミナーでした。3名のパネリストの方達のお話がそれぞれ大変興味深く、濃い内容でした。色々グサッと刺さる部分があり、研究者のあり方、教育者としてのあり方を考えさせられました。あと、越水さんの司会進行がとても素晴らしかったです！
- 色々な方向性のお話が聞いて良かったです
- 普段大学で生活していると中々話を聞く機会がない方々と交流できて非常に楽しかったし、今後の進路の参考になった。
- 単なる講演ではなく、フランクな形で、とても良かったと思います。
- 博士号取得後の働き方の選択肢がアカデミアだけでなく、多岐にわたることがよくわかりました。全く異なる経緯の御三方のお話が聞いて非常に良かったです。
- 博士号取得へのポジティブな感情は変わらなかったが、取得してからの企業就職を考える上で大変参考になりました。
- 今回は植物系学位取得者の複数のキャリアパスことを聞くことができ、民間企業の人間としても大変参考になりました。オーガナイズが大変だっと思います。大変おつかれさまでした。パネリストの方々からは体験談や事前質問に対する回答が聞けた一方で、学生の皆様が企業で望む生活はどういったものなのか、そこが気になりました。バリバリアカデミアのような基礎研究を続けたいのか、製品に近い研究をしたいのか、経営に近いポジションを目指したいのか、業務外のライフを優先したいのか…。こういった直の声があると、学生さんに博士進学を進めることのできる理由をまた提示できるのではないかと思います。

今後のダイバーシティ推進ランチョンセミナーで扱ってほしいテーマをご記入ください。

(自由記述)

- 研究から環境問題の解決に貢献する
- 女性研究者のワークライフバランス
- 学生のキャリア支援
- 世代や分野、立地ごとの現在の境遇、未来図など、力を入れたほうがよいテーマがあるのでは
- ポストの問題。研究生生活と人生設計について。
 - ・ 海外ではなぜ博士号取得が増えているのか・パートナー遠隔地問題(共働きの問題や、遠隔地の公募への応募しやすさに男女格差があるのか、など)・少子化と留学生の受け入れ